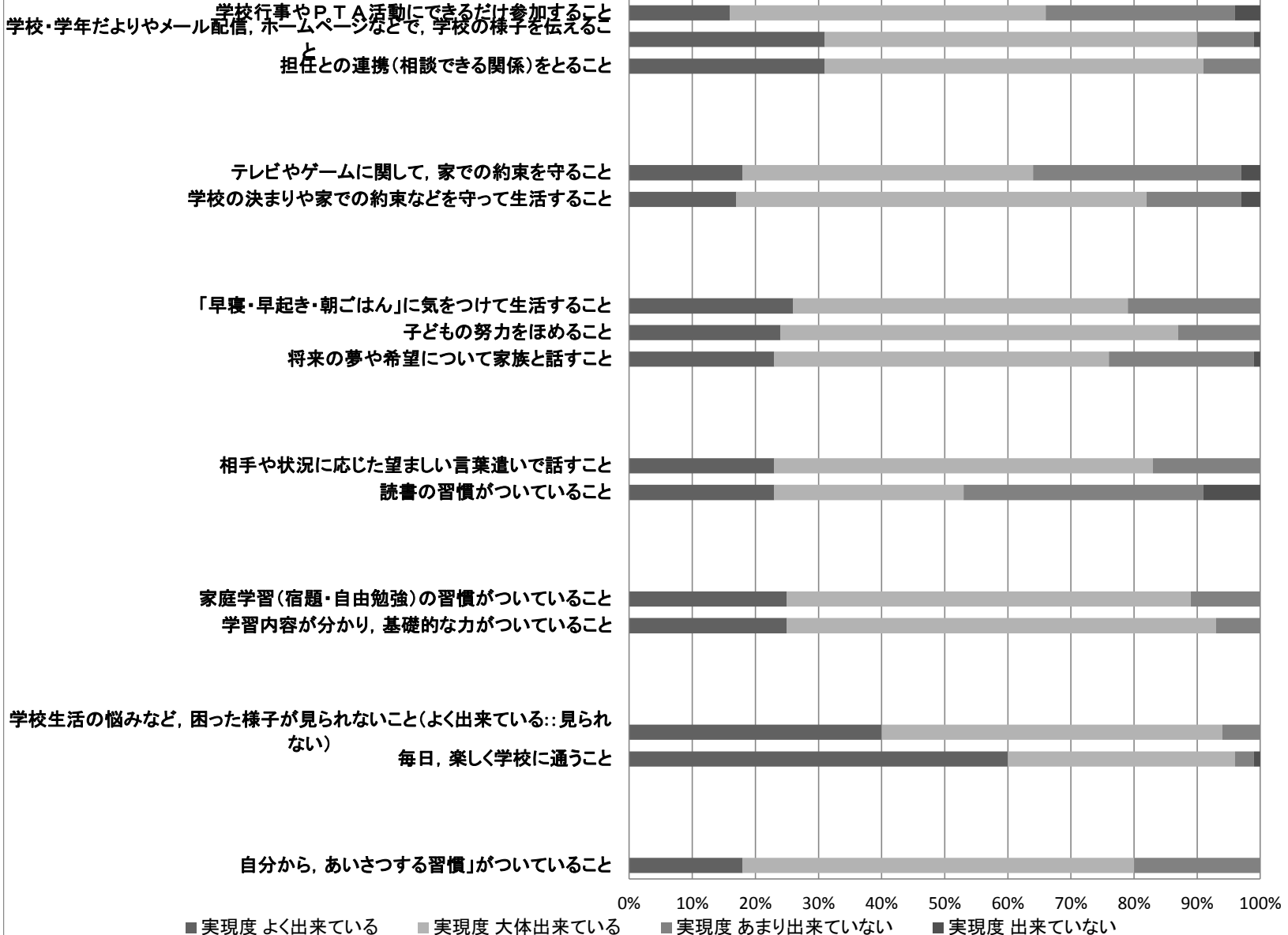




あかしや通信

平成28年 3月
京都市立朱雀第四小学校
校長 佐伯 卓也
臨時号

後期学校評価アンケート結果



保護者の皆様には、お忙しい中学校アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

前期のアンケート結果をもとに、課題としてとらえた点については、少しでも良い方向に向かうように取組を進めてきました。「自分からすすんであいさつする習慣」をつけるために、毎朝教員が登校指導をする時に児童会も一緒に朝のあいさつ運動に取り組むことにしました。毎日根気強く、取り組んだことにより、自ら大きな声であいさつできる子が増えてきました。後期アンケートの結果も「できる」が、前期よりも7%増え、80%になりました。また、「学習内容が分かり、基礎的な能力がついていること」については、「できる」が93%になりました。体験的な授業を多く取り入れ、児童の興味関心が続くよう工夫したり、チャレンジ学習や課外学習を積み重ねたりしたことにより、3～6年生のジョイントプログラムでは、全教科で全市平均を上回りました。「家庭学習の習慣がついている」という回答も89%になりました。しかし、読書の習慣については、個人差が大きく、「よくできている」が増えているのですが、「できる」が減っています。毎朝の読書タイムや教科学習での図書館利用の機会を増やしていきたいです。

基本的な生活習慣や決まりを守ることにについては、「できる」の回答が減りました。気候が寒くなったことにより、早起きができず、集団登校に遅れてくる子が増えたり、家の中での遊ぶことが多くなり、ゲームの約束が守れなかったりしたことが原因ではないかと考えます。ご家庭の協力をお願いしなければならぬことも多く、今後も学校だよりや学級通信、ホームページなどを通して、保護者の皆様にもいろいろな情報を発信していきたいと思っております。